

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

地域日本語教育実践プログラムA

北海道における日本語教育推進プロジェクト

— 地域多文化共生を目指して2013

SIL札幌日本語学校について

- 1992年開校 市内中心部より地下鉄二駅目に位置する
- 主に短期学習者対象のグループ及びプライベートクラス。日本での生活をより快適にし、地域の人々とも関われる、コミュニケーションのための日本語指導を目指す。試験対策も指導。文化庁委託事業は2009年度より受託。平成26年度で6度目。当該講座受講生は、市内ボランティアグループにて活動すると同時に当校ボランティア・スタッフとなり、ランゲージパートナー、イベントボランティア、生活指導スタッフとして活躍するようになっている。講師数約8名 学習者～50名
- 連携体制: 札幌市、札幌市教育委員会、(公財)札幌国際プラザ、各市町、市内小学校、市内ボランティアグループ、町内会、大学院生ボランティアとの連携も近年強まる。

北海道の実情

全道外国籍市民数 約22,000人 (市部16700人 郡部5300人) 平成26年1月1日現在

- 札幌 約9,400人 (中国・韓国又は朝鮮籍:約6割)
- 旭川 約680人 ■ 千歳 約400人 ■ 倶治安・ニセコ町近辺 約1000人弱
- 市部その他 (帯広・釧路・稚内・北見・根室):約1800人強

目立った集住地域がなく、研究者・技術研修生・短期日本語学習者などが散在している。

札幌市内の日本語ボランティアグループは約10団体(夜間の活動は一団体のみ)

・その他、子どもの学習支援のグループ(母語で教える)、子どもの取り出し授業をしているグループ、成人・子どもの日本語・母語教室を開講しているグループが各一団体ずつある。

道内には日本語ボランティア活動が盛んな都市と、活動が全くなく外国語ボランティアグループのみの都市、町がある。

事業の目的と展開

目的:外国人生活者がより地域に根差せるよう、一層、質の高い生活環境にて生活できるよう手助けをする。

基本の日本語と共に生活のマナー、防災の知識と日本語など、すぐに使える、知っておいた方がいい生活の日本語を指導。

- **日本語教室** (札幌・千歳:親子対象、倶知安町:スキー場関係者など対象)
- **人材養成講座**
(札幌・千歳・倶知安町・旭川4会場:シンプルな日本語を使用しての指導方法)
- **学習教材作成** (「お弁当を作ってみよう・チラシを読もう」)

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

「あわてないで教えよう2013」ー1

暮らしにかかわる日本語を覚えてもらうための教え方の基本をともにまなぶ(ワークショップ形式で)

各会場: 全4回(旭川二回) 受講者総数:71名

取り組みのテーマ: やさしい日本語、災害時(地震、津波、落雷、水害、避難所)の日本語、けが・病気表現(治療を受ける、ノロウイルス予防法など)、地域のごみの捨て方

使用教材: やさしい日本語関連HP、多言語問診票、各自治体の生活・ごみ分けガイド、当校作成教材

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

「あわてないで教えよう2013」-2

- ボランティアとしての心得について
- 情報・知識の確認及び情報の取得方法
- 言葉を言いかえて伝える作業
- 動詞の形など日本語教育での知識について



「札幌会場」

成果: 普段使用している言葉がいかに外国人には難しいかが初めて認識できた。外国語ができなくてもボランティアができることが理解できた。このような講座を毎週でも受講したい。

日本語教室の実施ー1 (合計104時間・17カ国54人)

①「親子で学ぼう日本語」・・・ 札幌/千歳会場

- 北海道内の外国籍の子ども達は親の仕事の都合で来日し、日本語の知識が全くないまま、学校生活に順応しなければならない。そのため孤立しがちである。より集中的な日本語教室を設定し、両親にも地域との関わりを少しでも増やしてもらいたい。

札幌では夏休み、冬休み期間に開講。



「千歳会場」



「札幌会場」

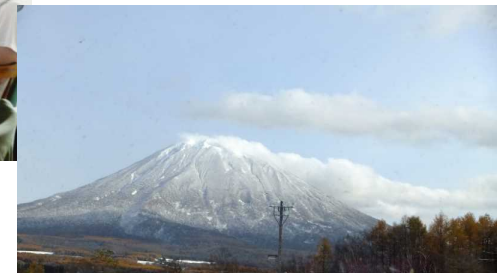
日本語教室の実施一2 (合計104時間・17カ国54人)

②「防災・傷病時の日本語」・ 倶知安会場

- ・防災時の日本語に加え、特に冬場は傷病のため通院治療を受ける外国人が多いが、病院関係者は通訳がいないと意志の疎通がはかれず大変困惑している状況である。そのための日本語、及び買い物の日本語などを指導した。



「倶知安会場」



日本語教室の実施－3

取り組みのテーマ「生活の日本語・マナーとマーク」

挨拶、感謝表現、自己紹介、はいといいえ、簡単な文型練習、日にち・時間の言い方、街・地下鉄などで見かけるマークの認識・注意すること、許可をもらう時、病院と買い物の日本語、日本人の家に行った時のマナー、トイレに行きたい時、食事のマナーなど、災害時の日本語など

成果:子どもは回が進むにつれリラックスした笑顔が見られ、親もいじめなどが心配だということや学習の合間に話すことができた。特に地方では日本語指導を受けるチャンスがないので、もっと勉強したいという声があった。

課題:児童の日本語指導においては、学習教科日本語と生活日本語(主に学校での日本語)は切り離せないが、どのように切り離して指導すべきなのか。特に来日したばかりの児童への指導内容は綿密な検討が必要である。

日本語教育のための学習教材の作成－1

「お弁当を作ってみよう・チラシを読もう」

地域に溶け込む活動を日本人とともにするための日本語教材をお弁当と身近にある町内のチラシを題材に作成した。日本語ボランティアと外国人学習者にそれぞれ有効利用可能になるよう工夫した。

- 日本人児童と同じお弁当を持たせたいと考える親・高学年以上の児童のために典型的な日本のお弁当を作成する手順、言葉などを盛り込むお弁当の中身の写真を切り抜き、お弁当を各自紙上で作成して試みる事ができる。又、各国のお弁当についても話し合う。
- チラシは主に市内の町内会の回覧板や看板などで目にするものを使用。北国ならではの題材を選んだ。リライトも作成し、漢字の認識も学習できる。全5課「春の大掃除と新年会」「カラスに気をつけよう」「盆踊りを楽しもう」「クマ情報」「雪のまちで暮らすために」

日本語教育のための学習教材の作成－2

2. 日本のお弁当に何が入っているでしょう

《食べ物》

●ごはん：白いごはん、赤飯、ピラフ、おにぎり、巻きずし、いなりずし、炊き込みごはん



●おかず：卵焼き、鶏のからあげ、ウインナーソーセージ、とんかつ、ハンバーグ、肉だんご、焼き魚、エビフライ、天ぷら、ポテトサラダ、煮豆、野菜の煮物、カボチャの煮物



3 「お弁当を作ってみよう」 p.3

●野菜・果物：きゅうり、ブロッコリー、いんげん、ミニトマト、オレンジ、ぶどう、りんご、パイナップル



3. 分けてみましょう

① 2. の食べ物を見て、色のグループに分けてください。
他に お弁当に入れたいものも 書きましょう。(例：しゅうまい、ピーマン、にんじん、のり、ごま・・・)

- 白 () _____
- 黄色 () トマト _____
- 赤 () 赤飯 _____
- 茶と黒 () ハンバーグ _____
- 緑 () ピーマン _____

4 「お弁当を作ってみよう」 p.4

日本語教育のための学習教材の作成ー3

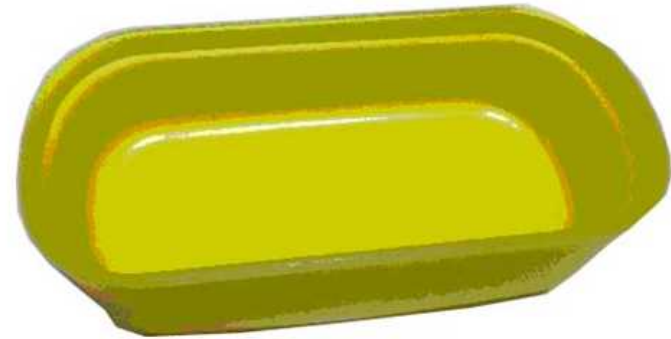
つめてみました。



③ 14ページの食べ物を 切り取り線から 切ってください。

④ 色を考えて 食べ物の写真を 7ページのお弁当箱に 入れてみましょう。

6「お弁当を作ってみよう」 p.6



7「お弁当を作ってみよう」p.7

日本語教育のための学習教材の作成－4

お知らせ

クマの足跡発見！

平成25年11月1日（金）、北国工業団地内において、クマの足跡が発見されました。足跡は2、3日前のものと思われます。

餌となる生ごみ等を自宅周辺に置かないでください。また、出没することも予想されますので、被害に遭わないよう十分ご注意ください。

クマと思われる足跡・フンなどを発見した場合は、市役所までご連絡ください。

平成 25年 11月 1日
北国市環境部
電話 123-4567 内線 89

A. リライトお知らせ

クマの足跡を発見しました！

2018年11月1日金曜日、北国工業団地の中でクマの足跡を発見しました。2、3日前にクマが歩いたようです。食べ物のごみを家の近くに置かないでください。クマが来るかもしれません。危ないので気をつけてください。もしクマの足跡やフンなどを見たら市役所に連絡してください。

2018年 11月 1日
北国市環境部
電話 123-4567 内線 89

《問題》お知らせとAの文を読んで、正しい文には○、正しくない文には×を入れてください。

1. () 11月1日に北国市環境部の人クマのフンを見た。
2. () クマは10月の終わり頃に出たようだ。
3. () 生ごみは家の外に置いてもいい。

「チラシを読もう」 p.15

c.



《ことば》

この先 : この道を行くと
狭い : せまい
通行 : 通ること

《看板の意味》

この道を行くとせまくなりますから、通る時に気をつけてください。

《問題》

1. 看板dにどんなことが書いてありますか。
() に入れましょう。
例) クマの足跡(を) 発見しました。

①このあたりにクマ() 出ました。
②散歩() 時は気をつけましょう。
③10月6日() ころ()、クマを見た人がいます。
④札幌市() のお知らせです。

d.



熊出没注意
(平成)23年10月6日
クマの目撃情報
札幌市

《ことば》

熊 : クマ
出没 : 出ること
目撃 : 見ること
情報 : お知らせ

「チラシを読もう」 p.17

日本語教育のための学習教材の作成－5

第5課 雪のまちで暮らすために

お知らせ

おねがい

北州市役所
除雪課

1. 路上駐車は、除雪のじゃまになり迷惑です。除雪にも、時間がかかります。また除雪車や救急車、パトカー、消防車などが通れません。絶対にやめてください。
2. 車道や歩道に雪を出すと、雪の山ができて道がせまくなります。道がせまくなると、渋滞になったり交通事故の原因になります。道路への雪出しは、やめましょう。



除雪車



雪出し

「ことば」

- | | |
|------------------|--------------------|
| 路上駐車 (ろじょうちゆうしゃ) | ・・・ 道に車を止めておくこと |
| 除雪 (じよせつ) | ・・・ 雪を片付けること |
| 車道 (しゃどう) | ・・・ 車が通るための道 |
| 歩道 (ほどう) | ・・・ 人が歩くための道 |
| 渋滞 (じゆうたい) | ・・・ 道がこんで、車が進まないこと |
| 交通事故 (こうつうじこ) | ・・・ 乗り物による事故 |

「チラシを読もう」p.19

「問題」

1. どうして路上駐車をしてはいけませんか。
2. 車道や歩道に雪を出すとどうなりますか。



◎ 雪の事故

雪の事故の原因は、おもに4つあります。

- ① 転倒 (てんとう)
- ② 雪の山
- ③ 落雪 (らくせつ)
- ④ ふぶき



「問題」

1. 上の①～④は、どんな事故ですか。線で結びましょう。

- | | |
|-------|------------------------------------|
| ① 転倒 | ・ 雪の山で人や車が見えないため交通事故が起こる |
| ② 雪の山 | ・ 車が雪にうまって動けなくなる |
| ③ 落雪 | ・ すべって ころんでケガをする |
| ④ ふぶき | ・ 屋根 (やね) からの雪でけがをする 「チラシを読もう」p.20 |

次年度へ向けて

人材の養成・研修:

札幌市内では特に参加希望者が多く、潜在的なボランティア希望者にどのように活動してもらおうか、どのようにまとめて行くかが問題ではないか。

日本語教室:

特に児童とその親は学校のお便りが読めない場合が多い。その解決のために、外国人各児童に外部ボランティアやクラス内の日本人親が、手助けできるよう個別担当のボランティアがいれば解決できるのではないかとと思われる。

例:ある児童は保育園の時に札幌在住、日本語は完全に理解していたが、6年在米のため、今回戻った時には完全に日本語を忘れていた。親は日本語会話はかなり出来るが漢字が読めず相談するママ友もいない。よって時間割もお便りも理解できずに毎日教科書は全冊持たせて登校させていたという。このような児童とその親に数人のボランティアが週毎につくことなどができればボランティアにも負担にならないと思われる。

学習教材の作成:

長期在住外国人はコミュニケーション力はあるが、漢字が読めないためにいざという時に情報弱者になる可能性が大きい。日本語学習においても漢字圏の学習者と同じ教材が使用できない場合もある。そのような学習者向けの生活に密着した教材が必要だと思われる。

